

平成22年度一般会計補正予算(第4号)について

主 な 質 疑

- Q: 土地取得は通常、※行政財産になるのではないかと。普通財産にして購入しなければならない理由と滞納者の土地処分について、今後の基本的方針は。
- A: 基本は行政財産であるが、※不能欠損を減らす有効手段として条件が整えば特例措置を今後検討していかねばならないと思っている。
- Q: 三俣地域振興対策費の「道の駅地域振興施設施設費」の200万円予算増の内訳と12月2日の地域全体説明会での道の駅の管理と下水道の変更の問題及び21日の事業説明会の日程の問題について訊かせてほしい。
- A: 実施設計の内訳は、外構工事と道の駅の基礎ボーリング調査。2日の会は若い出席者から運営に意欲的な話もあり、地域から運営するよう説得したい。21日には事業認可を早急に受け、用地買収に入りたいために開催する。
- Q: 観光宣伝費の委託料に出店業務20万9千円を町が支払うケースがあるが予算内訳を訊きたい。
- A: 観光イベントで、豊島区との友好都市の物産展に出店業務を委託した時の運搬費設営費等の経費、酒類販売。
- Q: 豊島区は幅広く交流して新たな交流は難しいだろう。
- A: 豊島区のお祭り会場周辺は来年度工事のため、無いかもしれない。
- Q: クロスカントリースキーコースは常設でいつでも誰でも利用できるのか。所によっては、安くできる方法があるのではないかと。
- A: 旭原旅行村まで県道除雪とゴルフ場をクロスカントリースキーコースの設営について協力いただける。150万円ですと単価委託契約を延べ25日分委託する。これはシーズンの使用日数を想定、クラブハウスの電気料、トイレの水道料が委託料に含まれている。小学校の5校親善大会、統合を想定した合同練習、欠ノ上コースから移って練習するジュニア選手、中学生の部活、体育の授業を想定している。
- Q: 今春の総務文教常任委員会では生徒が常時練習できる常設クロスカントリーコースの整備をお願いしていたが。
- A: あくまでも子供たちの練習をメインに考えている。昨年以上の練習になるコースを設定する。
- Q: 学校周辺のコースを検討していないのか。
- A: 起伏の無いコースでの練習では負荷が足りなく他選手には勝てない。
- Q: 文教施設整備委員の報酬の内訳と委員の今後の関わりは。
- A: プロポーザルの審査、教育分科会の中のワーキンググループの費用弁償の不足分、また委員については、今後着工まで何らかの関係を続けていただきたい。
- Q: 美しい森づくり基盤整備交付金事業はこの度の国の事業仕分けで廃止となったが、どんな事業を予定していたのか。また影響はあったのか。
- A: 浅間団地、大皆川団地の町有林の管理として、間伐と枝打ちの予定、支障にならないよう今後とも努めたい。
- Q: 消防庁舎の建設事業の負担比率が18%に下がったとのことだが、事業費がどのように変わったのか。
- A: 消防本庁舎の関係は、まだ変わらぬと思うが約12億円の18%2億2,300万円。
- Q: 南魚沼消防湯沢分署の土地評価額幾らになるのか。また将来には南魚沼市の所有になるのか。
- A: 分署の建設地は地元が出すことになっている。南魚沼郡4町時代の所有は、用途の廃止が行われると、それぞれの負担割合に応じた所有となる。

※行政財産 行政運営に直接利用される財産
 ※普通財産 行政財産以外で行政目的に直接利用されないもの。
 ※不納欠損処分 歳入徴収額を調定したものの何らかの理由で徴収ができず、徴収の見込みがたたないため、その徴収を諦めること。

22.12 平成22年度 特別会計補正予算

- 平成22年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 賛成全員で可決
- 平成22年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 賛成全員で可決
- 平成22年度介護保険特別会計補正予算(第2号) 賛成全員で可決
- 平成22年度病院事業会計補正予算(第2号) 賛成多数で可決
- 平成22年度下水道特別会計補正予算(第2号) 賛成全員で可決
- 平成22年度水道事業会計補正予算(第2号) 賛成全員で可決